

資料

『国外漢語教師来華研修項目』参加報告

山本 範子

目次

- 1 国外漢語教師来華研修項目とは
- 2 華東師範大学における2009年度研修
- 3 日本国内での類似した活動
- 4 最後に

1 国外漢語教師来華研修項目とは

国外漢語教師来華研修項目とは、中国国家の機関である「国家漢办」が主催する活動である。ホームページでは <http://www.hanban.edu.cn/hanyujiaoshi.php> に記載されている。ここの「国际汉语教师培训」の項目に詳細があり、これによると、以下のように研修が大きく分類されていることが分かる。

(ホームページの更新日時は2008年11月4日)

- 一、中小学漢語教師研修班
- 二、高校漢語教師研修班
- 三、専項技能提高班
- 四、中美合作研修班
- 五、開放式来華研修班

筆者の記憶では、筆者が申請した2007年時点ではここまで詳しく分かれておらず、「高等」という分類がありその中に高校と大学の教師が入っていたように覚えている。制度が変更されたのであろう。

新しい制度に沿って少し詳しく見てみたい。

1-1 中小学漢語教師研修班

これは、主に母語別に班を分類している。たとえば、最初に「俄罗斯中小学汉语教师研

修班・研修目標：加强对俄罗斯中小学学生汉语教学的趣味性。・汉语水平要求：HSK六级・承办单位：黑龙江大学」と記されているが、これはロシアの小中学生に中国語を教えている教師対象である。そのほかにもスペイン、ポルトガル、イタリア語を母語とするグループ、フランス語を母語とするグループなど六種類ある。

母語で分類してはいるが、それぞれの研修目標がその言語にあわせて個別設定されている点も特徴的であるⁱ。

これらに共通している資格はHSK(中国語を母国語としない中国語学習者のための、中国教育部(日本の文部科学省に相当)が唯一公認する中国語能力認定標準化国家試験)の六級である。HSKは初級、中級、高級に分かれており、六級から八級が中級で、六級を取得していると、中国の大学の理系コースに留学できる能力を有していると判断される。

受け入れ先もそれぞれ異なっており、得手不得手など諸事情が関係していると思われる。日本の場合は、「日本高中漢語教師研修班」となっている。中国語の「高中」とは日本では高等学校に該当する。現在、日本の小中学校で中国語教育を行っているところはほとんどない。研修目標は「読み書き聞き取り話す、の総合的な能力と、それに応じた教学能力の向上。

日本語母語話者が中国語を学ぶ際によく見られる間違いなどを系統的に理解し、過ちを訂正するやりかた」である。

これらのように母語によって対象を分け、固有の問題に応じて専門的に研修することは非常に効果的であると思われる。

1-2 高校漢語教師研修班

ここでは、日本における総合大学、単科大学、高等専門学校などの教師を対象としている。1-1と同じく、やはり国別、母語別に三つに分類している。そのうち二つ、ロシアとスペイン、ポルトガル、イタリア語母語を対象としたクラスでの条件は、HSK 六級で同じだが、研修目標はより高度な学的内容になっているⁱⁱ。

三つ目は「高校漢語教師普修班」で、上二種以外の母語話者が参加するクラスである。参加基準はHSK 九級もしくは母語が中国語（海外で指導している中国人ネイティブ）となる。HSK 九級は高級レベル（九級から十一級）となり、中国の大学院の授業に参加できるレベルである。日本の大学で指導している教師などはおそらくこのクラスに分別されると思われる。研修目標は「中国語教学の基本的な状況を理解し、学科を発展させて最新の学術成果を得、理論や素養を向上させた完全なる教師としての知識を身につけること」であるⁱⁱⁱ。

1-3 専項技能提高班

ここでは二つに分けられている。一つは「普通話提高班」で、普通話とは中国における標準語を意味する。広東語などの中国語方言を母語とする教師に対し、本人の標準語能力と標準語教学技術を向上させて、「普通話等級考試^{iv}」合格の手助けをすることが目標である。中国語が母語である教師対象のため、中国語要求レベルはない。

もう一つは「現代教育技術応用専修班」で、現代の教育技術の基本的な方法と技能を把握して、中国語教学に利用する能力を備えさせる、というのが目標である。受講資格はHSK 九級もしくは母語（中国語）教師^v。このクラスはより専門的な教学技術を学ぶことがで

きると想像されるが、筆者が参加した際にはこのような専門班は存在しなかった。非常に残念でならない。

1-4 中美合作研修班

中は中国、美は美国つまりアメリカのことである。中国・アメリカ共同研修班という意味である。これは孔子学院とACC漢語教師培訓班が共同で行うクラスで、中国語能力のみならず広く文化教養を身につけることを目標とする。HSK 五級以上が対象であり、比較的低いレベルも受け付けている。海外で1年以上教えた経験があるもの、ということになっている^{vi}。

1-5 開放式来華研修班

このクラスは15-20人規模の団体を受け付けているものである。国外漢語教師もしくはは教学機構の申請による^{vii}。

以上のように、国外漢語教師来華研修項目は様々な母語や水準に応じてクラスを細かく分別しているが、おそらくは2008年に制度変更されたものと思われる。そのため、筆者が実際に参加した研修班とは異なるが、今後はこのような体制で実施されるのであろう。

2 華東師範大学における2009年度研修

筆者が参加したのは、国外漢語教師来華研修項目における、2009年度「国際漢語教師暑期研修班」である。申請の際には履歴や職歴、志望の動機、健康診断や上司による推薦文も必要となる^{viii}。

実際に国家漢办からメールで連絡が来たのは五月初めである。（通知書の発行日は四月二十八日）筆者の場合、北京師範大学が高中（HSK 六級レベル）、華東師範大学が高等（HSK 九級レベル）という選択肢であったため、当初より華東師範大学を希望していた。夏休み期間に実施されるクラスは二つに分けられ、七月初めに開始されるのが北京師範大

学、七月半ば過ぎに開始されるのが華東師範大学であった。

筆者としては日本人クラスがあればそこに参加して、日本語が母語である学生に対する教学法を専門的に学びたいと望んでいたのだが、事務からの連絡によると「日本人はあなた一人です」とのこと。職務との関係もあり、当初から希望していた華東師範大学に参加することにした。

期間は七月十七日～八月十四日の約四週間。上海市にある華東師範大学の対外漢語学院で授業が行われ、宿舎も校内にあるホテル、国際交流服務中心の一室を用意された^{ix}。研修に参加した教師たちへの待遇は非常によく、宿泊費無料、授業料無料、生活費1500人民元支給、中国語教学関係書物支給^xなどである。

食事は自費で、大学内の食堂で食券を購入して用いるか、大学内外のレストランを使用するかであったが、食堂はお世辞にも清潔とは言えず、外国人教師の大部分はあまり食堂を活用していなかった^{xi}。

クラスは母語が中国語で、海外で中国語を教えている教師たちのクラスと、海外で中国語を教えている外国人クラスの二つであった。筆者は外国人クラス所属である。当初予定された外国人クラスの人数は12人だったが、実際に毎回出席するのは9人（インド、ポルトガル、フィンランド、カナダ、イギリス、白ロシア、日本）であった。

授業自体は三日目の月曜日から開始、午前中は合同説明会があり、午後から早速授業が始まった。筆者の所属するクラスでも、もちろん授業は中国語で行われ、参加した者たちも中国語で質問、討論する。授業と講師は母語（中国語）教師クラスと共通で、入れ替わる形で同じ授業を受けることになる。ただし、授業によっては外国人クラスには少しレベルを落したり、話す速度を遅くするものもあった。

個人的な感想を言えば、外国人クラスの参加者たちは驚くほど中国語がうまく、ネイティ

ブ並の速度で授業を受けても何ら問題はないように思えた。事実、「もっと早く話してください」と注文する場面も少なからず見られた。

四週間のスケジュールは以下の通りである。
（午前 8：30-10：00 10：15-11：45
午後 13：30-15：00 放課後）

- 7/20 开办典礼 / 中华文化专题（书法） / 汉字简化的历史过程 / 欢迎晚会
- 7/21 中华文化专题（诗词精华） / 中华文化专题（诗词精华） / 中华文化专题（剪纸）
- 7/22 汉字教学 / 汉字教学 / 中华文化专题（书法）
- 7/23 中国改革开放与经济发展 / 中国改革开放与经济发展 / 自由活动 / 浦江夜游
- 7/24 汉语语音知识 / 汉语语音知识 / 中华文化专题（剪纸）
- 7/25 上海市内观光
- 7/26 自由活动
- 7/27 汉语词法概况 / 汉语词法概况 / 汉语写作教学
- 7/28 汉语语音教学 / 汉语语音教学 / 中华文化专题（中国结）
- 7/29 中国文化专题（中国民俗文化） / 中国文化专题（中国民俗文化） / 汉语口音教学
- 7/30 外国学生的语音分析 / 外国学生的语音分析 / 中国文化专题（中国结）
- 7/31 汉语教学技巧 / 汉语教学技巧 / 自由活动
- 8/1 上海近郊 朱家角一日游
- 8/2 自由活动
- 8/3 阅读中的偏误分析 / 阅读中的偏误分析 / 讨论
- 8/4 中华文化专题（中国民俗文化） / 中华文化专题（中国民俗文化） / 教师素质：汉语普通话水平测试
- 8/5 汉语新词汇及流行语 / 汉语新词汇及流行语 / 朗读与表演 / 观看文艺演出

- 8/6 汉语作为第二语言学习的认知心理分析 / 汉语作为第二语言学习的认知心理分析 / 语法教学
- 8/7 汉语语法概况 / 汉语语法概况 / 自由活动
- 8/8 苏州一日游
- 8/9 自由活动
- 8/10 对外汉语远程教学：新技术的应用 / 对外汉语远程教学：新技术的应用 / 国家汉办三个标准介绍
- 8/11 现代汉语语法专题 / 现代汉语语法专题 / 汉语阅读教学
- 8/12 参观上海博物馆，上海城市规划展示馆 / 晚上 结业式
- 8/13 汉语视听说教学 / 汉语视听说教学 / 小结
- 8/14 多媒体技术在课堂教学中的应用 / 多媒体技术在课堂教学中的应用 / 自由活动
- 8/15 离校

以上が、最初に渡されたスケジュールとなる。コンピューターの故障で教室が使用できないことや、教師の病気欠席などもあり、多少の変更はあったが基本的にはスケジュール表通りであった。

課外活動は二クラス合同で、この費用も中国側が負担してくれた。上海市内や近郊を大学所有のバスで移動して見学したが、ほとんど現地集合現地解散で、自由に行動できたのでとても便利に感じた。

授業内容については、それぞれの講師によっても差違はあるが、印象に残ったものを幾つか紹介したい。

外国人クラスの、大学で教えている参加者に好評だったのが、ベテランの毛世楨氏である。担当科目は、漢語語音知識と外国学生的語音分析、教師素質：漢語普通話水平測試の三つである。非常に美しい標準語を使用し、また豊富な経験に基づいた詳細且つわかりや

すい授業内容で、母国語クラスの参加者たちが、廊下に並んで質問待ちしていたほどである。どれも印象深いが、筆者にとってはやはり外国学生的語音分析の授業が特に興味深かった。様々な母国語の影響による語音の問題はもとより、中国人の方言による問題にも言及。中国では公務員に漢語普通話水平考試 (PSC) の合格を要求しており、一般の中国人にとってもいかに標準語が難しいかを物語っているといえよう。

現在、日本で中国語を教えているネイティブ (中国人) のどれだけがこの資格を有しているかは分からないが、今後、日本で語学教師として雇う際、基準の一つとして考慮してもよいのではないと思われる。母語話者だから教えられるというのは、誤った考えである。発音一つとっても方言の強い教師がいるのも事実で、「自身の発音こそが標準である」と思い込んでいる場合もあり、本当の意味での標準語をきちんと発音できるか、という点においても留意せねばならないだろう。

母語話者による海外での中国語教師の資格としては、中国国家が「国際漢語教師標準」を制定している^{xi}。さらに、普通話水平考試に合格していることも望ましい、とのことである。

たとえば、中国で日本語教師をする場合、以前は日本人というだけで良かったが、昨今は日本語教師の資格を求められることが増えていると聞く。同様に中国語教師にも、一定の共通した資格を求めるべきではないだろうか。

語法教学を担当された呉中偉氏の授業も、非常に有益であった。外国人教学が専門だけに、具体例が豊富で、どのように間違えるのか、それをどのように訂正し、教えるのかといったノウハウを惜しげもなく披露しつつ、体系的な語法論を展開。特に高校生や中学生を教えている参加者に好評で、授業後は全員が書店に走り、氏の著した教科書や参考書を買

求めたほどである。

すべての授業は教学、専門、文化の三種類に大別できた。文化では実際に切り紙をしたり書道をしたりと、解説と実践がセットになっていたが、参加者によっては欠席の多い科目でもあった。専門分野は文学や語学、経済学などで、筆者としては興味深いものであった。しかしあくまでも初歩の段階にとどまり、日本の大学生が学ぶような内容であったことは否めない。物足りなさを感じたものの、参加者の専門分野に対するレベルはバラバラであったため、仕方のないことだったのかもしれない。

参加者全員が最も集中したのは、やはり教学に関する科目であった。児童に教える立場から大学院で指導する立場まで様々ではあったが、教学はそのすべてに共通する分野である。勢い、授業後もクラスの中で討論が始まり、「これは我が国には当てはまらない」「これは華僑には向かない方法だ」などと情報交換が盛んに行われた。

教学分野の授業で筆者が感じたのは、欧米からの留学生に対する研究が中心であり、具体例も説明もほとんどがそれに対応するものだけということである。日本人にはまず無理だなという方法が多く、文化の違いを感じた。できれば日本人対応の教学も学びたかったのだが、残念ながら今回のこの研修に参加した日本人は筆者一人であったため、特別に日本人対策という内容は聞いてはもらえなかった。

ただし、時折「日本人はこうだろう」という例が挙がり、筆者に同意を求められることがあったのだが、かなりの割合で「それは以前の日本人です。今の日本人には少ないタイプです」と答えることが多かった。ステロタイプな日本人像ができあがっているのではないか、現状認識がやや遅れ気味なのではないかという危惧を抱いた。

とはいえ、実際に現在も日本人留学生を教えている講師もいることから考えると、欧米

人と比較すれば今なお旧式な日本人像で通じるとのことなのかもしれない。またよく似ているということで、日本人と韓国人が挙げられたが、筆者からすると、それほど似ているようにも思えないのだが。これも文化的な見方の違いなのだろうか。

ちなみに筆者が研修期間に記録したノートはA5で約80ページに及ぶ。ほとんどの授業がパワーポイントを用いて行われ、資料配付はあまりなく、もっぱら聞き書きが中心であった。後に頼んでパワーポイントのデータの一部をUSBメモリにコピーさせてもらって、少し楽になったのだが。

クラスメートは各国からの代表ということで、非常に流暢に中国語を操り、授業でも討論でも全く何の問題もなかった。それどころか、筆者以外は全員英語も得意で、国によっては数カ国語できるのが当たり前という環境もあると知り、驚くと同時に反省した次第。年齢は二十代半ばから四十代まで、常に参加した九名では男性が一名、残りが女性であった。最初から参加しなかった者や、すぐに帰国してしまった者もいたが、どうやら授業の中国語レベルについていけなかったのが原因の一つらしい。

実際、HSK九級以上の高等班を募集していたにもかかわらず、参加者の都合により、高中班や中小班なども混在したクラスとなっていた。授業展開は基本的に高等向けであったから、参加者によっては望む教学方法とは異なっていたのではないかと推察される。おそらくはそういった理由から、2008年の秋に内容が一新され、研修班が細かく分類されたのではないかと思われる。

研修の最後に、全員がレポートを中国語で作成し提出したが、聞いたところでは遠慮なく問題点を挙げて批判すべきところは批判し、感謝すべき点は感謝したとのこと。この研修がよりよく改善されることを願うと同時に、筆者もまた機会があればぜひ参加したいと思

う。^{xiii}

なお、卒業式とお別れパーティが開かれたが、その際には二通の証書もらった。一通は華東師範大学認定の「結業証書」、もう一通は国家漢办による「外国漢語教師 培訓証書」である。^{xiv}

3 日本国内での類似した活動

さて、このような外国人中国語教師に対する課程は、実は日本でもいくつか実施されている。例えば札幌大学孔子学院^{xv}では、中国語講座、文化講演、シンポジウム、スピーチコンテストなどのほかに、毎年「中国語教員短期プログラム」を実施している。これは8月に三日間集中して行う講座で、主に高校教師などを対象としている。そのほかにも、5泊六日で広東外語外貿大学で語学研修を行うコースも設定している。

ほかに中国駐大阪総領事館教育室が主催、西日本地区の各種学校の中国語教師を対象とした「漢語教師培訓班」がある。これは2008年に始まり、2009年も2月から12月まで全十回、毎月一回の講義が行われている^{xvi}。費用は資料費として毎回1,000円、一括の場合は8,000円となる。

時間割を見る限りは非常にレベルの高い内容で、かなり専門的であると思われる。語音と語法の二分野に分け、講師にはそれぞれの第一線で活躍する専門家を揃えている。この課程で八回以上参加すれば、孔子学院総部が発行する培訓証書が発行される。

筆者も毎月一回大阪に通うのは可能ではないかと思ったのだが、西日本地区の教師限定であったため、涙を呑んだ。

ぜひ東日本地区でもこのような課程を実施してもらいたいものである。

そのほか立命館孔子学院では中国語教員研修・養成プログラム^{xvii}、桜美林大学孔子学院では2006年より教員研修^{xviii}など、日本に

おけるすべての孔子学院で何らかの中国語講師研修が実施されているようである^{xix}。

4 最後に

2009年夏、上海での研修に参加できたことは、非常に有意義であり得難い体験であった。このプログラムを教えて下さった先生、ご多忙な中快く推薦文を書いて下さった先生、急な依頼にもかかわらず健康診断書を即日発行して下さい医療機関、会議など職務を欠席することに理解を示して下さい先生、など、多くの方々のあたたかいご支援、ご協力で無事に一ヶ月を過ごすことができた。

生活も授業も何もかもが中国語という環境は理想的であり、教育方法、語法、語音などさまざまな専門的知識やノウハウを学ぶことができたのも幸せであった。留学時代と異なり、クラスメート全員が中国語教師だという環境もたいそう知的刺激に満ちており、しばしば文化による学生の違い、教授法の違いなどについて熱心に語り合ったものである。

しかしこのような、せっかくの素晴らしい機会をどれだけの日本人教師が知っているのか、それが気になってならない。本論の執筆動機はまさにその点にあり、拙文によって少しでも多くの日本人中国語教師がこのプログラムに参加するきっかけになればと、願うものである。

注

ⁱ 俄罗斯中小学汉语教师研修班・研修目标：加强对俄罗斯中小学生学习汉语教学的趣味性。汉语水平要求：HSK六级・承办院校：黑龙江大学

以西语、葡语、意大利语为母语的中小学汉语教师研修班・研修目标：通过分析西语、葡语、意大利语地区学生的汉语学习偏误，进一步提高学员自身的汉语听说读写能力及汉语教学技巧，完善学员作为中文教师的知识结构。汉语水平要求：HSK六级・承办院校：北京外国语大学

法国中小学汉语教师研修班・研修目标：针对

母语为法语的汉语教师，提高其汉语能力及教学技能。·汉语水平要求：HSK六级·承办院校：北京教育学院

东盟、东南亚汉语教师研修班·研修目标：通过观摩中国中小学汉语课堂教学的方法和技巧，加深对中国汉语教学、文化与国情的了解，提高汉语教学的实际运用能力和对中国文化的感受力。汉语水平要求：HSK六级·承办院校：云南大学、云南师范大学、厦门大学

小学汉语教师研修班·研修目标：掌握儿童汉语教学的原则以及课堂教学的技巧，熟悉各种课堂活动和游戏并能创造性的设计汉语水平要求：HSK六级·承办院校：华东师范大学

新加坡汉语教师研修班·研修目标：帮助教师加强汉语教学理论修养·汉语水平要求：HSK九级·承办院校：复旦大学

日本高中汉语教师研修班·研修目标：提高学员汉语听、说、读、写综合能力及相应的·教学能力；使学员系统了解日语母语者学习汉语时常见的偏误及纠正策略。

汉语水平要求：HSK六级·承办院校：吉林大学

ii 俄罗斯高校汉语教师研修班·研修目标：通过系统对比中俄语言、文化的差异，分析其对汉语教学的影响，帮助学员更有效地进行汉语教学。汉语水平要求：HSK六级·承办院校：黑龙江大学

以西语、葡语、意大利语为母语的高校汉语教师研修班·研修目标：通过分析西语、葡语、意大利语地区学生的汉语学习偏误，进一步提高学员自身的汉语听说读写能力及汉语教学技巧，完善学员作为中文教师的知识结构。汉语水平要求：HSK六级·承办院校：北京外国语大学

iii 高校汉语教师普修班研修目标：了解汉语教学的基本情况、学科发展趋势以及最新学术成果，提高学员理论修养，完善教师的知识结构。汉语水平要求：HSK九级（或母语为汉语）承办院校：北京大学、北京师范大学、北京语言大学

iv 每月实施され、公務員はこの試験に合格しなければならないらしい。等級に応じて小学校や中学校の教師になれるかどうかとも決まるとのこと。

v 普通话提高班研修目标：针对有粤语、闽南语等方言背景的汉语教师（母语为汉语），提高其

普通话等级考试。承办院校：首都师范大学、华东师范大学

现代教育技术应用专修班·研修目标：掌握利用现代教育技术进行教学的基本方法和基本技能，具备利用现代教育技术进行汉语教学的能力。汉语水平要求：HSK九级（或母语为汉语）承办院校：华东师范大学

vi 研修目标：快速提高学员汉语水平、课程设计及实际教学能力，帮助学员了解中文化（该项目要求学习期间只讲中文）。汉语水平要求：HSK五级或ACTFL中级中以上水平。承办单位：ACC（Associated Colleges in China）美国各大学联合汉语中心。

vii 国外汉语教师或教学机构可向我办申请组织来华研修班，成班规模须达15-20人，学员应符合我办项目要求，申请单位需结合当地汉语教学情况和师资培训要求，向我办提交详细的来华研修方案：包括研修目标、内容、方式、时间、来华院校、资助需求、学员申请表及名册。国内省厅、直属院校可参考申请。

viii 申請書は <http://www.hanban.edu.cn/content.php?id=4148> でダウンロードできる。

ix ベッドが二つあるが机と椅子は1セットで、外国人教師はここを一人で使わせてもらった。海外在住中国人教師は二人使用だったらしい。

x 3000人民元以内で、ホームページから申請するようにとのことだったが、実際には希望したものすべてがもらえるわけではなかった。郵便手続きのミスが重なり、実際に届いたのは帰国日前日。さらには注文した書籍の大半が在庫切れで入手不可能という状況だった。

<http://zengshu.hanban.org/zsIndex.ciic>

xi なんと古い肉に濃い味付けをして出した食堂もあり、客と大いにもめるといふ事件も起きた。

xii 为了提高国际汉语教师的专业素质和教学水平，培养、培训一大批合格的汉语教师，满足世界各地日益增长的汉语学习需求，国家汉办组织研制了《国际汉语教师标准》（以下简称《标准》）。

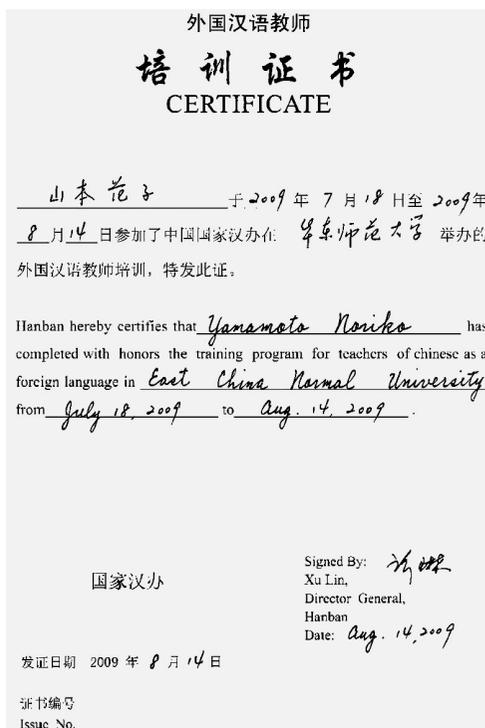
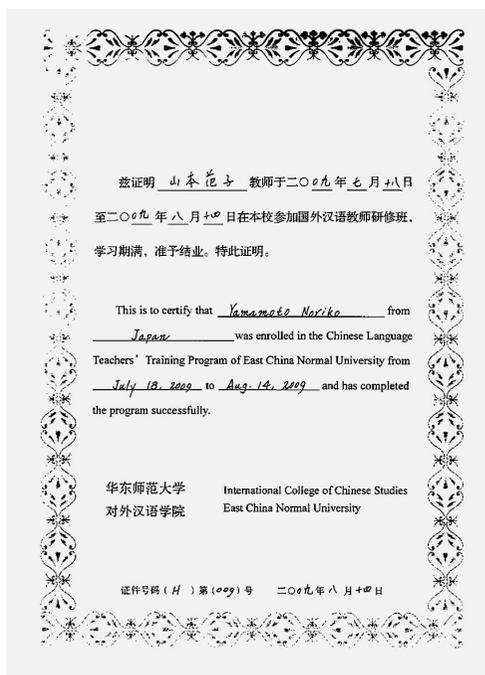
《标准》是对从事国际汉语教学工作的教师所应具备的知识、能力和素质的全面描述,旨在建立一套完善、科学、规范的教师标准体系,为国际汉语教师的培养、培训、能力评价和资格认证提供依据。

《标准》由5个模块组成。分别为:(1)语言知识与技能。包括“汉语知识与技能”和“外语知识与技能”两个标准,对教师应具备的汉语及外语知识与技能进行了描述。(2)文化与交际。包括“中国文化和中外文化比较”与“跨文化交际”两部分。要求教师具备多元文化意识,了解中国和世界文化知识及其异同,掌握跨文化交际的基本规则。(3)第二语言习得理论与学习策略。要求教师了解汉语作为第二语言的学习规律和学习者特点,能够帮助学习者成功学习汉语。

(4)教学方法。包括“汉语教学法”、“测试与评估”、“课程、大纲、教材与教辅材料”和“现代教育技术与运用”四个标准。要求教师掌握汉语作为第二语言的教学理论和教学法知识,具备教学组织和实施能力。(5)综合素质。主要对教师的业素质、职业发展能力和职业道德进行描述。《标准》借鉴了TESOL等国际第二语言教学和教师研究新成果,吸收了国际汉语教师实践经验,反映了国际汉语教学的特点。

xiii 一度参加すると数年間は応募できないと聞いたが、実際にどうなのかは定かではない。申請書をホームページからダウンロードし、必要事項を書き込み、書類を整えて、決められた宛先に送るだけであるから、応募自体は非常に簡単である。審査があって希望者全員が参加できるわけではないらしいが、日本においては応募者がどの程度いるのか皆目見当もつかない。

xiv



xv 中国 국가가, 海外に拠点を置く中国語教育組織。札幌大学孔子学院は現時点で, 北海道唯一の孔子学院である。

『国外漢語教師來華研修項目』參加報告

xvi

汉语语言学基础知识系列讲座

回 日程	语音 (10:00 ~ 12:30)		语法 (14:00 ~ 17:30)	
	題目	講師	題目	講師
1 2月8日(日)	汉字概说 (1)	张 猛	语法概说	胡 士 云
2 3月1日(日)	汉字概说 (2)	张 猛	汉语的词类	徐 国 玉
3 4月26日(日)	标点符号	胡 士 云	汉语的词汇	刘 敬 华
4 5月24日(日)	语音学基础与普通话语音	胡 士 云	句子成分与短语 (1)	杉村博文
5 6月28日(日)	《汉语拼音方案》及其教学	胡 士 云	句子成分与短语 (2)	杉村博文
6 7月26日(日)	对日本学生的汉语语音教学	郭 修 静	句子成分与短语 (3)	任 鹰
7 9月27日(日)	汉语方言概要	石 汝 杰	句子成分与短语 (4)	古川 裕
8 10月18日(日)	音韵学基础	太田 斋	单句和复句	古川 裕
9 11月22日(日)	普通话与北京话	刘 勋 宁	普通语语法和方言语法	刘勋宁
10 12月20日(日)	语言与言语	未 定	汉语语法的历史变化	佐藤晴彦

<http://www.jacle.org/storage/kansaiworkshop09.pdf>
参照のこと。

xvii 2009年11月から2010年2月まで。

http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/09_k_kyoin_bm.pdf 参照のこと。

xviii <http://kongzi.obirin.ac.jp/KZAproram 01.html>
参照のこと。

xix <http://sapporo-koshi.jp/link/index.html> の孔子学院リンクを参照のこと。そのほか、個々の孔子学院で特色があり、ラジオ放送するものや子供に教える課程など様々である。

